

測量計算 (TS・GPS)

A-SurveyPC

Windows

エース プロジェクト

2025/01

Ver2.68.0 で追加、された機能を説明します。

- ・シェープファイルの保存を追加

1、シェープファイルの保存を追加

要望がありましたので、追加しました。

GIS のソフトで使用されている、シェープファイルです。

随分前に、保存は作成した覚えがありました。

仕様書も古いので、変わっていないか不安でしたが、問題ないようです。

自分の忘備録的な要素も含め、作成してみました。

シェープファイルの保存は、2 か所で出来ます。

「データ管理」に「Shape 保存」があります。

ここでの対象は、現場の全データです。



次に、保存する種類(地物)を選択します。
シェープファイルは、下記の3種類を作成できますが
このデータ間に、関連はありませんので
画地だけとか、ラインだけとかで作成できます。
それぞれに、座標を持っています。

A-SurveyPC [0429]

保存

☒ 座標 ☒ 画地 ☒ ライン

三次元処理(PPOINTのみ)

☒ X, Yデータ ☐ X, Y, Hデータ

OK キャンセル

座標の場合に、X, Y, H のデータも保存できる選択を追加しました。
具体的に使用した事はないです。

シェープファイルの、ファイル名を指定します。

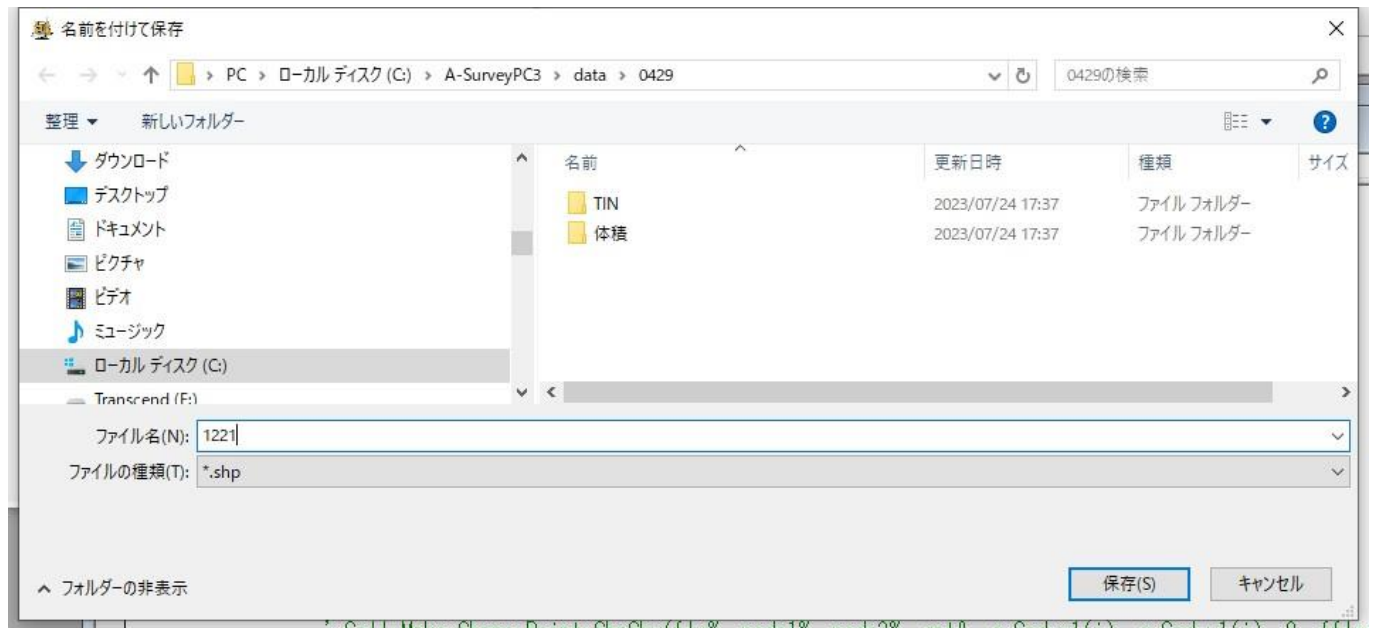
この後、**QGIS** で読み込みましたが、**QGIS** は

常に、このシェープファイルを見ているので、シェープファイルを削除すると

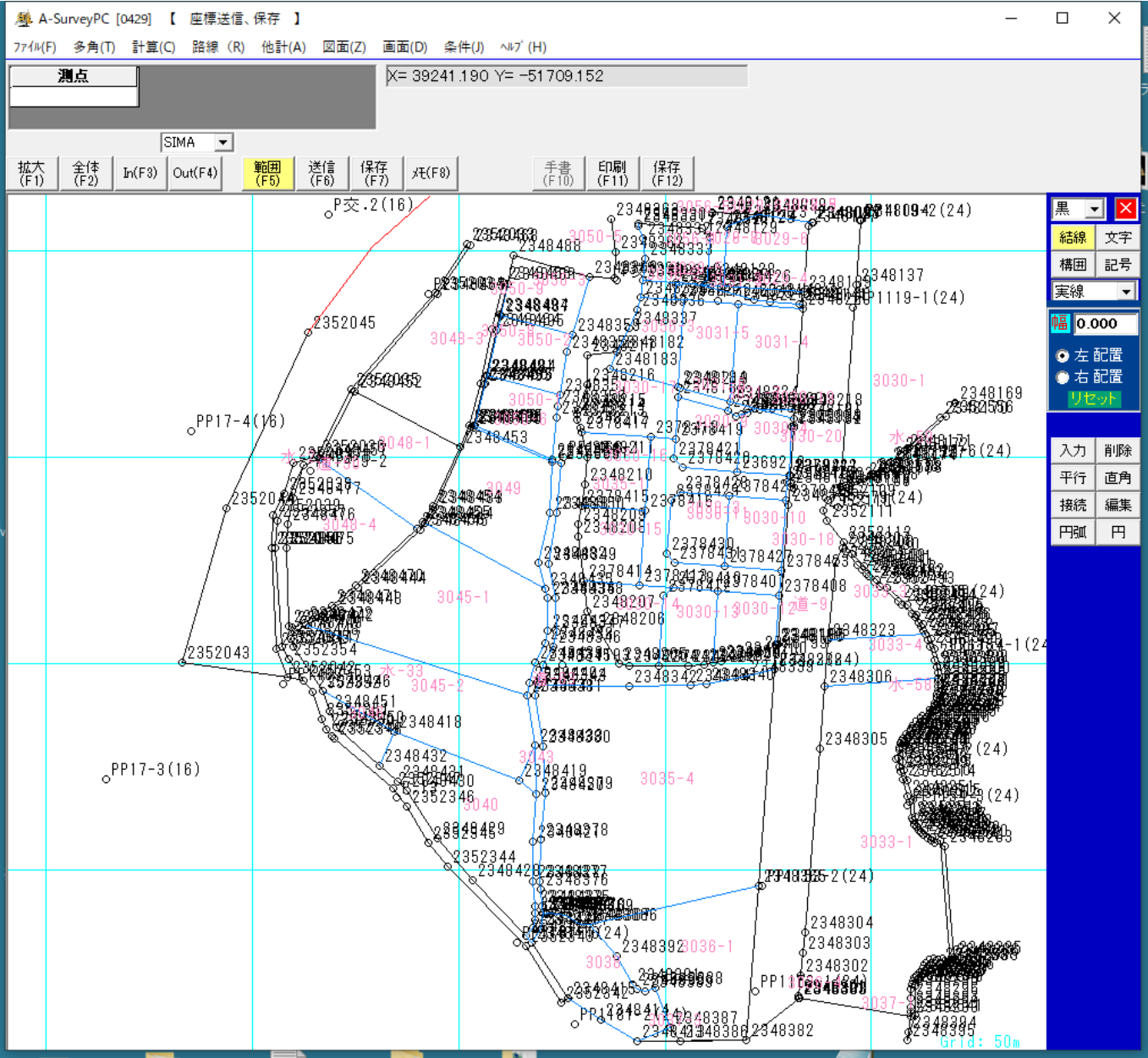
QGIS で、エラーになり使えなくなります。

保存先（コピー先）は、注意してください。





















ファイルを更新すると、**QGIS** も自動で更新されます。



このデータです。



作成すると、

    	画地、閉合
    	画地、開放
    	ラインデータ
    	座標データ

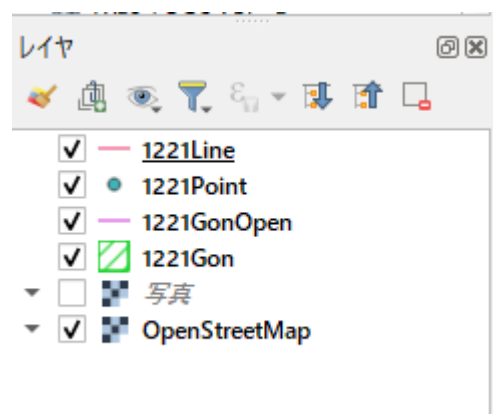
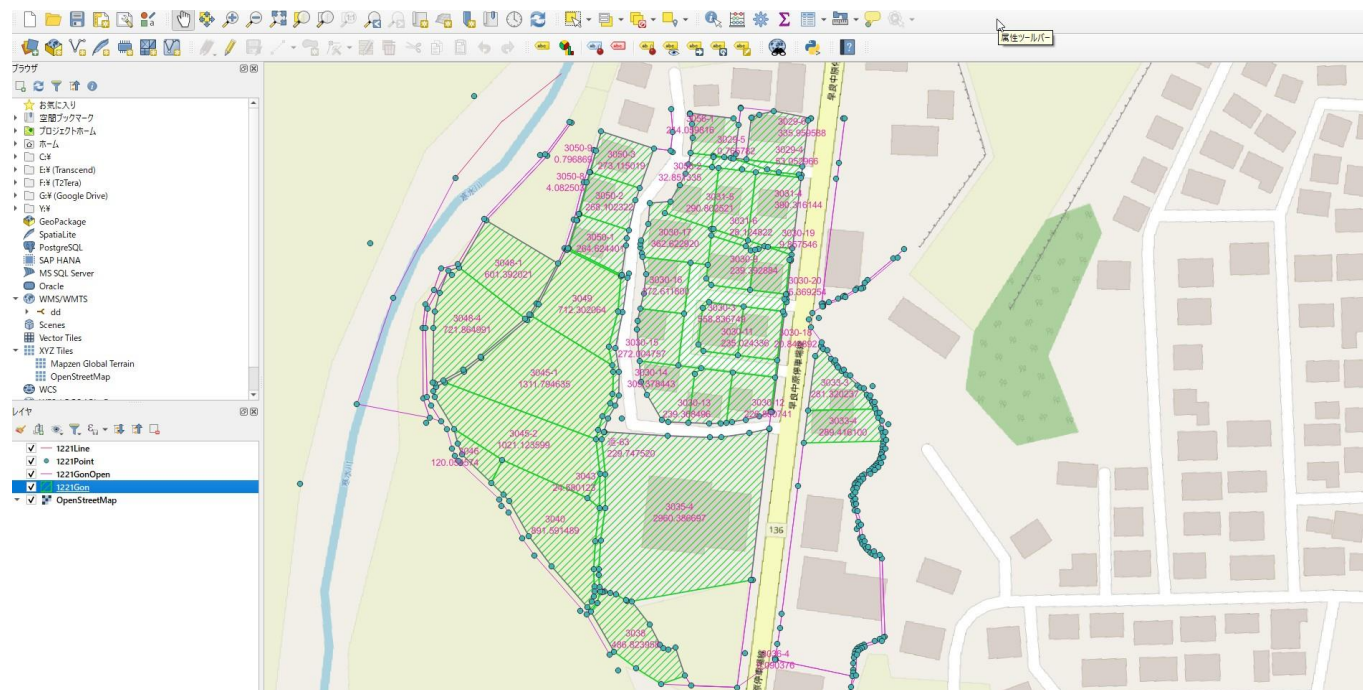
が作成されます。

それぞれが独立しているので、必要なデータを **QGIS** で読み込めば OK です。
拡張子、.shp ファイルを、**QGIS** にドラッグするだけです。

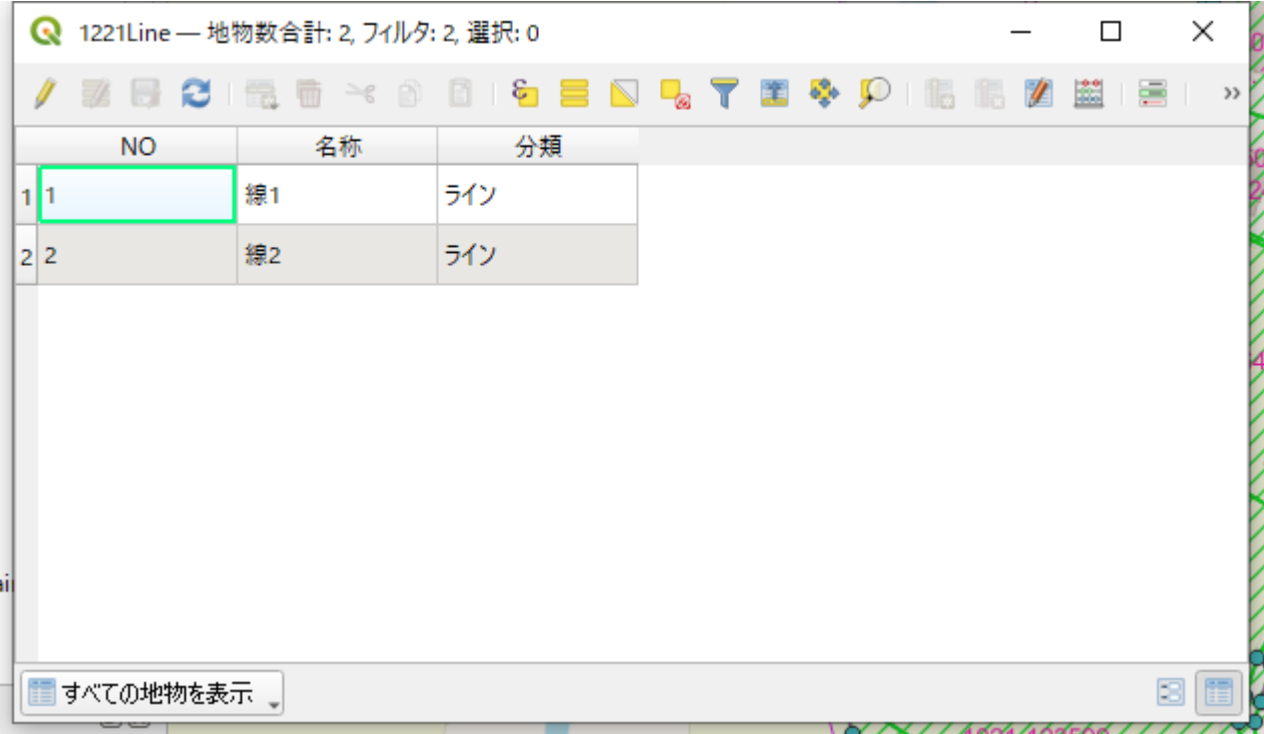
データが無いものは、作成されません。

ファイル名に、Gon、GonOpen、Line、Point が付加されます。

QJIS での表示結果です。



ラインデータです。



1221Line — 地物数合計: 2, フィルタ: 2, 選択: 0

	NO	名称	分類
1	1	線1	ライン
2	2	線2	ライン

すべての地物を表示

座標データです。

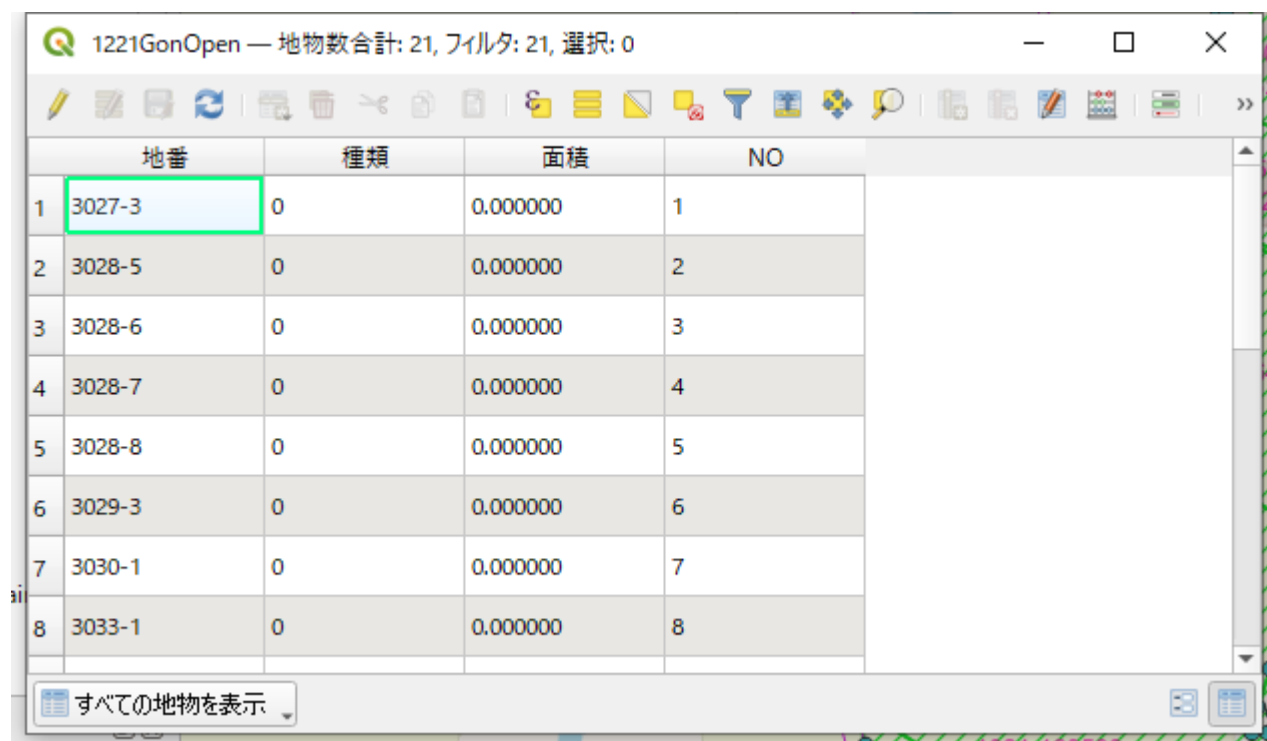


1221Point — 地物数合計: 433, フィルタ: 433, 選択: 0

	点名	X座標	Y座標	標高	XE	NO
1	PP1119-2(24)	39257.364	-51752.966	0	NULL	1
2	PP1119-1(24)	39236.234	-51754.626	0	NULL	2
3	PP17-3(16)	39121.774	-51935.364	0	NULL	3
4	R13	39117.388	-51865.064	0	NULL	4
5	P交82(24)	39148.557	-51773.532	0	NULL	5
6	P交80(24)	39165.020	-51738.413	0	NULL	6
7	P交79(24)	39187.762	-51758.064	0	NULL	7
8	P交.2(16)	39258.891	-51881.381	0	NULL	8

すべての地物を表示

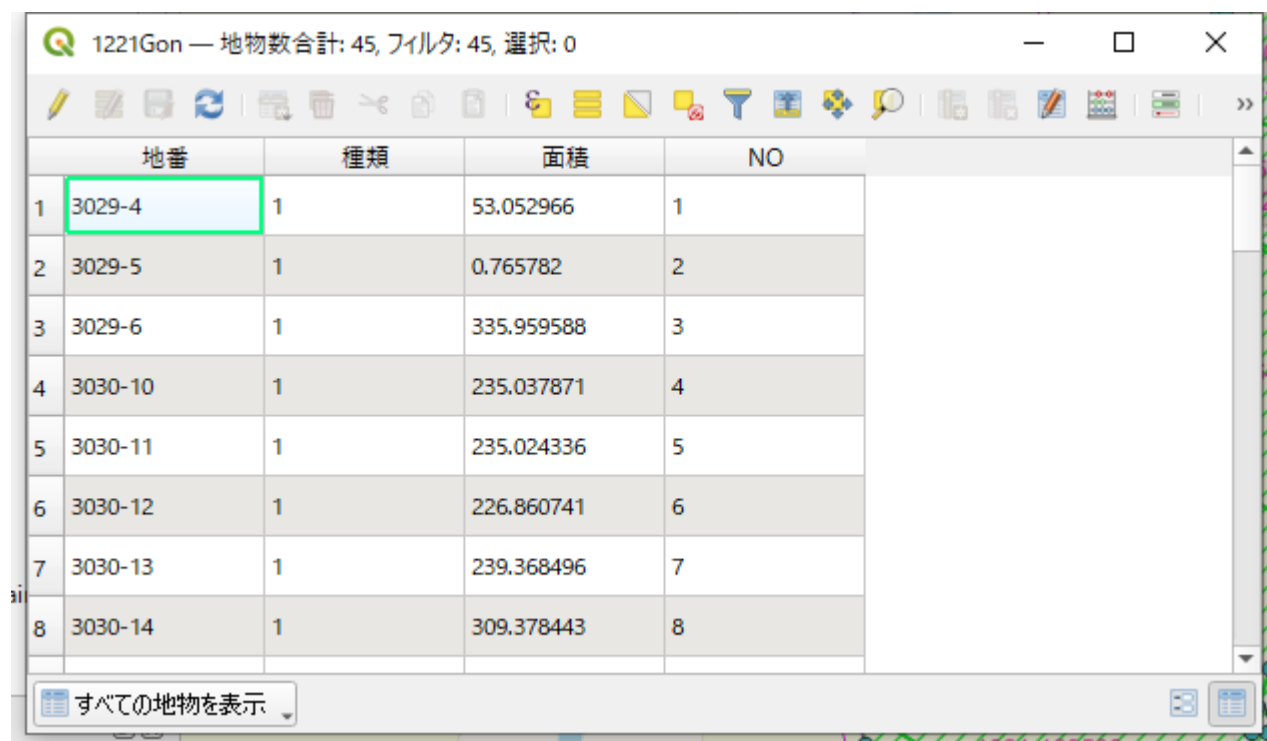
画地開放データです。



	地番	種類	面積	NO
1	3027-3	0	0.000000	1
2	3028-5	0	0.000000	2
3	3028-6	0	0.000000	3
4	3028-7	0	0.000000	4
5	3028-8	0	0.000000	5
6	3029-3	0	0.000000	6
7	3030-1	0	0.000000	7
8	3033-1	0	0.000000	8

すべての地物を表示

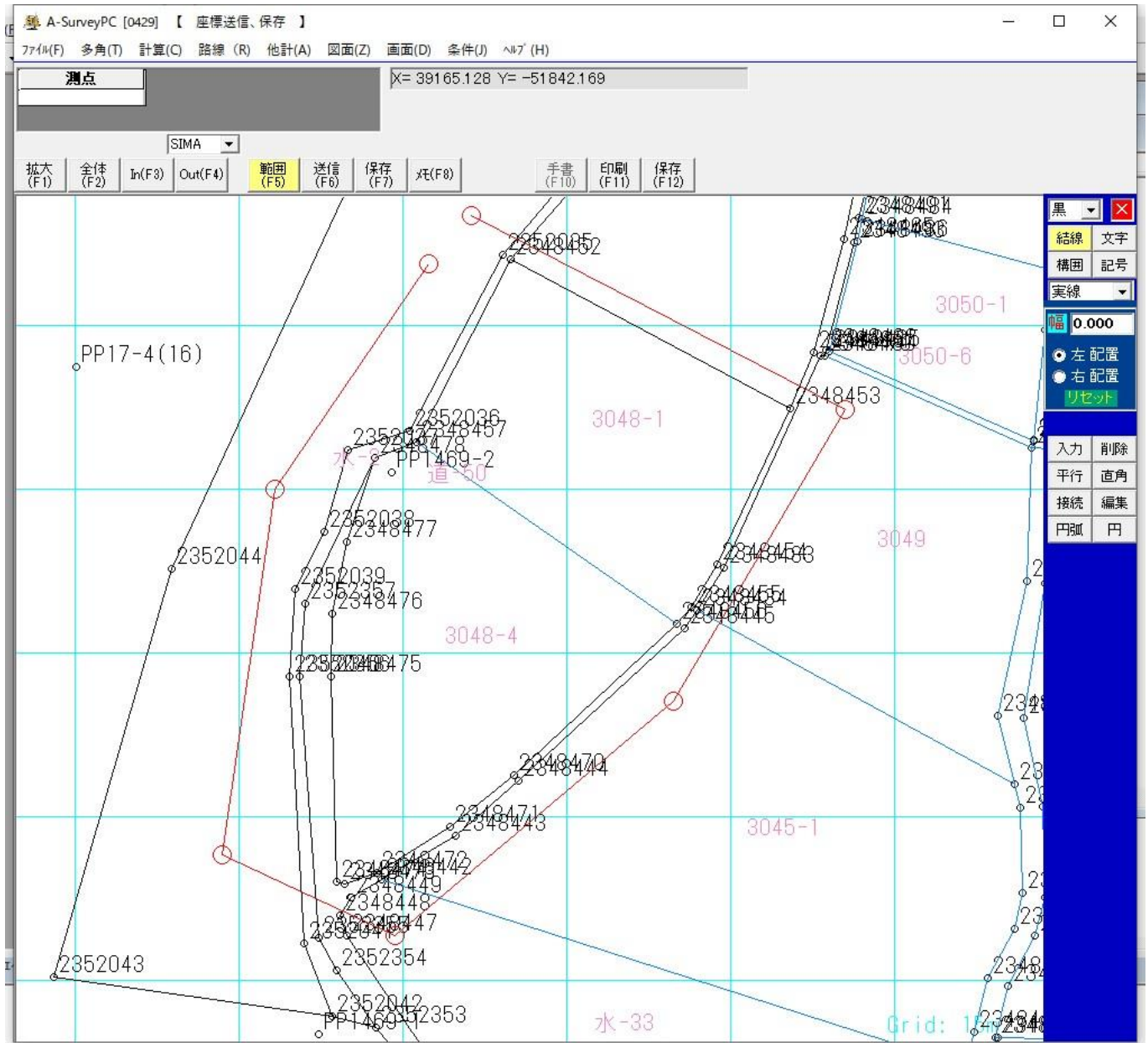
画地閉合データです。



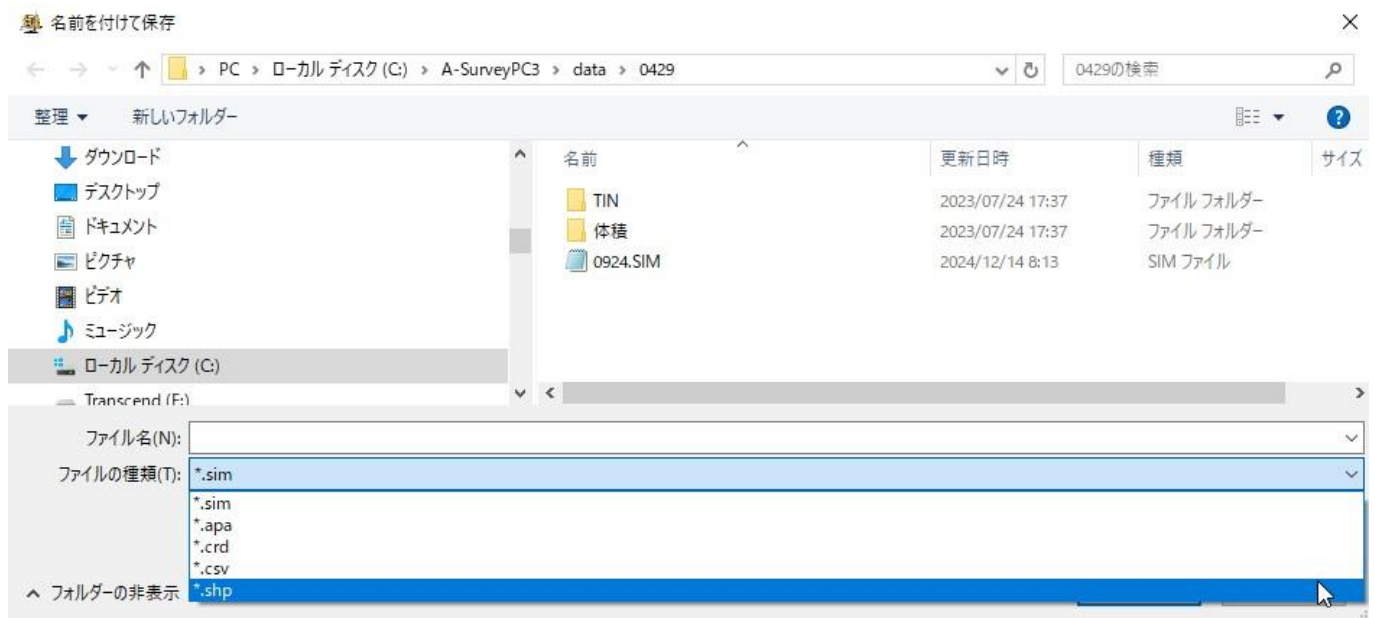
	地番	種類	面積	NO
1	3029-4	1	53.052966	1
2	3029-5	1	0.765782	2
3	3029-6	1	335.959588	3
4	3030-10	1	235.037871	4
5	3030-11	1	235.024336	5
6	3030-12	1	226.860741	6
7	3030-13	1	239.368496	7
8	3030-14	1	309.378443	8

すべての地物を表示

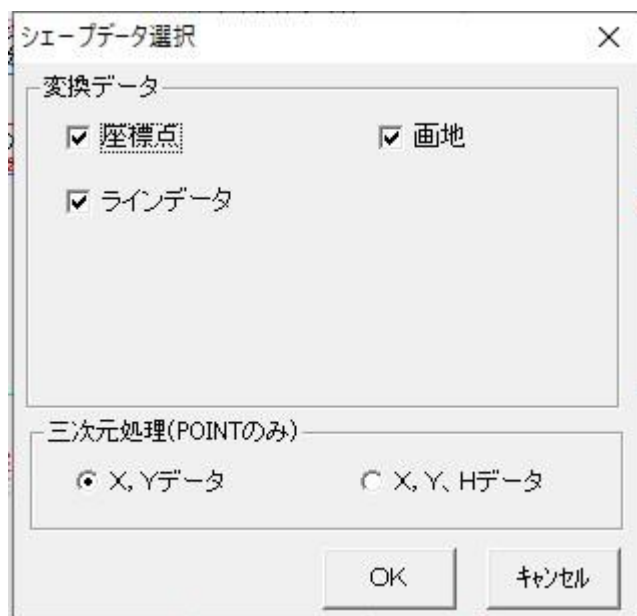
範囲を指定が使用できます。



「保存(F7)」ファイルの種類で .shp を選択します。



次に、保存するデータを指定します。



座標データにメモも保存されているので、下記の様に表示できます。
画地には、面積が保存されているので、下記の様に表示できます。
(面積は、フル桁で計算した値です。)



「全点(F5)」にすると、「データ管理」と同じく現場の全データで作成します。